

ペナルティーシュートアウト戦 実施規程

1. 両チームの5名の選手がゴールキーパー（以下GKという）と1対1のペナルティーシュートアウト（以下PSOという）を交互に行い、合計10回のPSOが行われる。監督から当該TOにあらかじめ申告された順番でPSOを行う。下記に該当する出場停止中の選手を除いた当該試合のエントリーフォームに記載されている選手の中から監督が指名する。
2. アンパイアは当該TOと相談して使用するゴールを選択する。
3. コイントスを行い、先攻か後攻を決定する。
4. 最も多くのゴールを決めたチームが勝者となる。PSO戦は勝敗が明らかになった時点で終了する。
5. PSO戦実施中は、エントリーフォームに記載されたすべての者とベンチに入ることが認められている者は、使用する23mエリア外のフィールド内に入ることができる。アンパイアの指示があれば、攻撃側チームのGKは、サークル外のゴールラインで待機しても良い。PSOを行う選手と守備するGKだけが当該23mエリアに立ち入ることができる。
6. TDによって出場停止中の選手や当該試合中にレッドカードによる退場処分となった選手は、PSO戦に参加することができない。
7. PSOは下記のとおり実施する。
 - i 守備側GKは、ゴールポストの間のゴールライン上に位置する。
 - ii 当該23mライン上の中心にボールを置く。
 - iii 攻撃側選手はボール近くの23mラインの後ろに位置する。
 - iv アンパイアはPSO開始の合図の笛を吹く。その後は攻撃側選手とGKは、どの方向に動いても良い。
 - v PSOは次の項目のどれかに該当したときに終了する。
 - ・8秒が経過したとき。
 - ・ゴールとなったとき。
 - ・攻撃側選手が反則したとき。
 - ・GKが反則したときは、再度PSOが行われる。
 - ・GKが故意の反則をしたときは、PSが与えられる。
 - ・ボールがバックラインやサイドラインの外に出たとき。PSOにおいては、GKがボールを故意にバックラインから外に出す行為は許される。
8. PSO戦実施中に、攻撃側選手またはGKが退場となった場合は、その選手はその後PSO戦に参加することはできず、守備するGK以外は交代もできない。もし守備するGKが退場となった場合は、PSO戦の攻撃側選手として申告されている5名の中からのみGKとして交代できる。その際は防具を装着するための適切な時間が与えられる。攻撃選手が退場となった場合は、その後の当該選手PSOはノーゴールとなる。
9. PSO戦実施中に、守備GKがプレー不能となった場合は、当該試合のエントリーフォームに記載されている選手の中から交代できる。ただし、上記6. および8. に該当する参加不可能な選手を除く。もし、交代する選手がフィールド選手の場合は、防具を装着するための適切な時間が与えられる。
10. 両チーム5名の選手のPSOが終了した時点で、ゴール数が同数の場合は、同じ選手（プレー不能なGKは交代できる）による第2シリーズのPSO戦が行われる。第2シリーズ以降は、両チームが同じ回数のPSOを終えたとき、一方のチームのゴール数が相手チームを1多かったならば、そのチームが勝者となる。（PSOの実施回数の制限はない）
11. 第2シリーズも同じ選手で実施されるが、プレー不能なGKは交代できる。攻撃選手の実施順序は、第1シリーズと同じでなくてよい。PSOを行う時に監督は順番を決めることができる。第2シリーズ以降では5名の選手全員がPSOを行うまで、同じ選手を再度指名できない。
12. 第1シリーズで先攻のチームは、第2シリーズ以降では後攻となる。

実施手順（競技役員用）

1. トスを行い、先攻後攻を決定する。
2. プレー順の申告を受ける。
3. **GK**の待機場所はサークル外のバックライン上でも良いことを伝える。（オプション）
4. メイン審判員は、2名がよく見える場所に位置する。サブ審判員は、**PS**時と同じゴール右側のバックライン上付近に位置する。
 - ・メイン審判員は、通常のフィールドプレーと同じような位置取りがベター。サブ審判員は、ゴールラインを割ったかどうかの判定と攻撃選手、**GK**の反則の判定補助を主に行う。
5. ジャッジは、23mライン中央付近に位置し、8秒間の計測の用意をする。
 - ・8秒経過時点で笛を鳴らす。
6. 2名の選手が所定の位置について、準備ができていることを確認する。
7. メイン審判員は、サブ、ジャッジとアイコンタクトで準備ができていることを確認し、プレー開始の笛を吹く。
8. メイン審判員は、ゴール、認定ゴール、ノーゴール、反則等の判定およびゼスチャーを明確に行う。

留意事項

- ・ 8秒時点でゴールを割ったかどうか微妙な状況が想定され、サブ審判員は、その点にも留意しなければならない。
- ・ 8秒計測者はプレーを見てはならない。
- ・ 故意の**GK**の反則は**PS**とする。（通常プレーなら**PS**となるケース）
- ・ 故意でない**GK**の反則はアゲイン。判定しようとしたが、8秒終了の合図より遅れた場合は通常時と同様で終了となる。
- ・ **GK**はバックラインから外にボールを故意に出すことが可能。（通常プレーなら**PC**となるケース）
- ・ **GK**がブラインドになる可能性もあり、必要に応じて協議することも視野に入れる。
- ・ サジェスションアンパイアは置かない。